

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）	施策の柱	都市空間
------	--------------------	------	------

●目指す姿

- 計画的な市街地の形成、適正な土地利用が図られています。
- 公共施設のバリアフリー化など安全で快適な市街地整備が推進されています。
- 適切な景観、開発、建築指導により、質の高いまちなみが形成されています。
- 豊かな自然が保全されているとともに、緑あふれる公園が適切に維持管理されています。

●事業の達成指標

項目名	前期計画策定時	H27	H28	H29	H30	R1	R1年度末目標値	担当課	分析	今後の取組予定
（主）自然と調和した美しいまちなみが整っていると感じる市民の割合	69.7% (H26)	-	66.3%	-	66.0%		UP	都市計画課	歴史的なまちなみの保全・再生や安全な歩行空間を確保するため、川島西部地区や新加納地区において道路や公園整備を行ったが、市民のまちづくりに対する期待度から、数値は微減となっている。	市民とのワークショップなど、市民の意見も取り入れ、景観に配慮した安心安全なまちづくりを行う。
（主）歩道を安心して通ることができると感じる市民の割合	51.9% (H26)	-	45.8%	-	46.8%		UP	道路課	各路線の年次計画に基づき、歩道のバリアフリー化を進め、数値は順調に伸びている。	市道整備(新設・改良)において、バリアフリー化など積極的に推進し、歩行者が安心・安全に通行できる歩道の整備を進める。
（客）都市緑化に対する助成件数（累計）	446件 H25末	504件	531件	542件	627件		600件	河川公園課	ブロック塀の安全性に対する市民の関心が高まったことを受け、制度を拡充したことにより、目標値を達成した。	施工業者への周知や、該当箇所への直接訪問など、積極的な啓発活動を継続して進めていく。

●施策の方向性①適正な土地利用の推進

事業番号	71101	事業名	ごんぼ積み地区都市再生整備事業	担当課	都市計画課	事業評価	順調に進んでいる
事業概要	歴史的文化遺産である「ごんぼ積み」の活用により、魅力・活気あふれるまちづくりを推進し、安心して楽しめる沿道空間を創出するため、ごんぼ積み集落のまちなみを再生する。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状（(R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする）や数値、前年度比較等）、解決すべき事柄】 ごんぼのまちなみ修景工事において散策路のカラー舗装を実施した。また、新設道路の市道川40号線の整備が完了した。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 —</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 —</p>						

事業番号	71102	事業名	木曽川～夢と浪漫～まちづくり事業	担当課	都市計画課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	「木曽川～夢と浪漫のまちづくり盟約」に基づき、木曽川を軸にして、犬山城下町と中山道鶴沼宿、村国座の観光拠点を、各務野歴史街道と本事業で整備する河畔遊歩道で結ぶ、周遊ネットワークの強化により、本市東部地区の観光交流人口の増加を図る。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 H29年度に事業が完了した。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 —</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 —</p>								

事業番号	71103	事業名	新加納地区都市再生整備事業(Ⅱ期)	担当課	都市計画課	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	「中山道間(あい)の宿新加納」の歴史的まちなみを整備するとともに、良好な宅地化を行うため、周辺公共施設を整備するほか、土地区画整理支援を実施する。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 地区内の土地区画整理事業を支援し魅力と活気あふれるまちづくりを推進する。区画整理地内に整備する新加納陣屋公園工事は今年度完成を目指し着手しているが、整備にあたっては地元にとって親しみのある公園となるよう、土地区画整理組合や地元まちづくり会の意向を十分に反映させる必要がある。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 関係者の意向を反映させた公園整備ができるよう、建築物の色彩や樹種等を決定する際には、意見交換を綿密に行う。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 市発注者、受注者、土地区画整理組合、地元まちづくり会と合同で月1回の調整会議を開催し、進捗状況や施工内容について確認する。</p>								

事業番号	71105	事業名	土地区画整理支援事業	担当課	都市計画課	事業評価	概ね順調に進んでいる
事業概要	市街化区域で宅地利用が困難となっている未利用地において、組合施行による土地区画整理事業を実施し、優良な市街地を形成する。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 H30年度は、新加納地区において土地区画整理事業を支援し、魅力と活気あふれるまちづくりを推進した。H29年度には、新加納地区内の別の地区において、市街化区域でありながら宅地が不整形や未接道など、土地利用が困難となっている区域の地権者に対し、土地区画整理について事業計画を説明するとともに、意向確認を行ったが、「未利用地解消に向け推進してほしい」という賛成者がいる一方、「土地を減らしたくない」などの反対意見もあり、全員同意が得られない状況である。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 土地の地権者に対し、説明会及び個別説明を実施することで、土地区画整理事業の内容や効果に対する理解を深めてもらう必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 反対者に対しては、事業による土地区画の再編と接道確保のメリットについて一層丁寧な説明を行い、同意が得られるよう、区画整理組合立ち上げに向けた支援を実施する。</p>						

事業番号	71106	事業名	新那加駅周辺地区都市再生整備事業	担当課	都市計画課	事業評価	概ね順調に進んでいる
事業概要	「新那加駅周辺地区バリアフリー基本構想」に基づき、新那加駅周辺の公共施設のバリアフリー化を推進し、高齢者、障害者等が移動しやすい、快適な市街地を整備する。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 バリアフリー法の対象となる名鉄新那加駅は、改札口や連絡通路が地下に設置されており、高齢者、障害者等の移動が困難となっている。当駅の南口と北口及び改札内に計3基のエレベーターを設置するため、鉄道事業者とともに事業を実施中。エレベーターの施工区分は、北口の1基は各務原市が施工し、南口及び改札内の計2基は鉄道事業者が施工している。南口・北口のエレベーター及び地下通路については、自由通路化に伴い市の維持管理となる見込みであるため、今後、鉄道事業者との協議が必要となる。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 維持管理区分の詳細や大規模修繕が必要となった際の対応を明確にするため、鉄道事業者との綿密な協議が必要となる。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 鉄道事業者との維持管理協定の締結に向けた協議を継続し、維持管理や大規模修繕時の費用負担等について、協定書に基本方針を明記する。</p>						

事業番号	71107	事業名	各務山土地開発事業	担当課	土地活用推進室	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	市中心部に位置する各務山の採石場跡地の有効な土地利用を図り、優良な市街地の形成、産業の活性化を図る。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 南北幹線道路の交差点設計に活用するため、各務山周辺の将来交通解析を実施した。 1工区の基本設計が完了し、詳細設計を実施している。また、事業区域の地区計画策定に向け、関係機関と協議中である。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 各務山1工区の整備に関する地区計画策定にあたり、岐阜県との協議に期間を要することから、工事着手時期に影響のないよう、早期に協議を進める必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 地区計画の策定を早期に実現できるよう、県との協議を着実に進めていく。</p>								

事業番号	71108	事業名	都市計画区域区分等変更事業	担当課	都市計画課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	岐阜県の都市の将来像やまちづくりの基本方針を示す「都市計画区域マスタープラン」の平成32年度定期見直しに合わせ、本市のおおむね20年後のまちの姿を展望し、区域マスタープランの素案を作成する。併せて、区域区分の変更を行い、適正な土地利用の推進を図る。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 区域マスタープランについては、庁内の意見聴取を終え、概ね素案が確定している。鵜沼西町地区、各務山の前町地区の区域区分変更と川島スポーツ広場周辺地区の用途地域変更については、県をはじめとした関係機関と協議を進めている。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 区域マスタープランについては、県主催の公聴会やパブリックコメントが実施される予定。区域区分、用途地域の見直しについては、住民説明会の実施や案の縦覧、都市計画審議会への諮問といった都市計画法上の手続きが必要である。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 県との協議と併せて、法定手続の準備を進める。</p>								

●施策の方向性②魅力的な都市空間の形成

事業番号	71201	事業名	空家等対策事業	担当課	建築指導課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	<p>今後、益々空き家は増加することが予測されるため、効果的に流通促進を図ることが求められる。また、空き家所有者へのアンケートの結果、所有者の半数以上が不動産市場への流通を希望しているが、所有する空き家が旧耐震基準であるため、速やかな流通が困難であることが予想される。したがって、国土交通省の賃貸借ガイドラインに基づき、課題である旧耐震基準の空き家を含め、賃貸物件として借り主が自由にリノベーション可能な「借主負担DIY型契約」を用いることで、空き家を新たな形で市場に流通させていく。</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】                      事業協力により登録の依頼を受けた物件数として、常時10戸程度をホームページにて公開している。魅力ある空き家の登録を積極的に行い、年間の借主負担DIY型契約数は、H29年度は7件、H30年度は10件となった。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】                      空き家の有効活用を推進するため、建築指導課、広報課、まちづくり推進課を含む「空き家リノベーション推進会議」の連携を密にし、市民等へホームページやSNS等により情報発信し、事業の周知・啓発活動をする。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】                      DIY空き家ワークショップ開催事業や空家等予防・適正管理等推進事業を継続するとともに、協力事業者によるサブリースにより空き家の新たな活用を図るなどモデル的な事業展開を検討する。</p>								

事業番号	71202	事業名	各務原市景観計画改訂事業	担当課	都市計画課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	<p>本市では、H18年に策定された各務原市景観計画に基づき、重点風景地区や景観地区の指定をはじめ、地域資源を活かした美しい都市景観の形成に努めてきた。計画策定後11年が経過し、総合計画や都市計画マスタープランの改訂や社会情勢の変化への対応と、さらにこれまでの取り組みを総括し、景観に対する市民の意識醸成と魅力ある都市空間の形成を創出することを目的とする。</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】                      各務原市総合計画をはじめとした上位計画との整合を図るとともに、まちの変化に対応するための時点修正を行った。また、景観に関する施策(屋外広告物の許可申請等)の総括を行い、新たな景観形成が必要な地区については重点風景地区の候補地として位置づけた。(R1.6.28業務完了)</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】                      -</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】                      -</p>								

●施策の方向性③公園・緑地の保全

事業番号	71301	事業名	都市公園等整備事業(補助)	担当課	河川公園課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	施設の老朽化、公園利用者のニーズを踏まえ、市民の憩いの場やレクリエーション活動の拠点となる緑豊かな公園をリニューアル、または新規整備する。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】            緑の基本計画における公園・緑地の整備方針に基づき、公園のリニューアル、新設整備を実施し、H30年度には半ノ木洞公園のリニューアル整備を実施した。公園のリニューアルについては、施設の老朽化の度合いや整備の必要性などから優先順位を決める必要がある。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】            地域及び周辺住民の個別のニーズがあり、地域の実情を十分見極めながら費用対効果も重視して整備していく必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】            計画においては地元説明会を実施し、住民の要望を十分聞いた上で可能な限り設計に反映させ、利便性の高い公園整備に努める。</p>								

事業番号	71302	事業名	緑化推進事業	担当課	河川公園課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	市内の公園(自然遺産の森及び河跡湖公園)における緑化イベントや市民ボランティア等と連携した公共の花壇等への花苗などの植栽、接道・屋上・壁面緑化など市民による各種緑化活動への助成などにより、市民への緑化啓発を推進する。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】            たけのこまつり、河跡湖フェスティバルなどの緑化イベントの開催や、年2回の花苗配布及び花と緑コンクールの開催、接道緑化及びブロック塀撤去に対する補助金の助成を実施している。今年度は花屋に花と緑コンクールのポスターを掲示し、広く市民に周知を図っている。緑化活動等は市民ボランティア団体を中心に実施していただいているが、参加者が固定化及び高齢化の傾向にある。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】            幅広く市民に緑化啓発を行っていくには、緑化イベント等を通じて若年層を含めた多数の市民への情報発信により、実効性を高めていく必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】            幅広い年齢層による緑化活動となるよう、緑化イベントにおいては、若年層をターゲットにしたブースを検討するとともに、市民ボランティア団体に対し、若年層を積極的に勧誘してもらうよう働きかける。</p>								

●施策の方向性④岐阜基地周辺環境の整備

事業番号	71401	事業名	学習等供用施設改修事業	担当課	総務課	事業評価	概ね順調に進んでいる
事業概要	<p>航空機騒音を緩和し、地域における学習及びコミュニケーションの場を提供するため、防衛省の補助金や交付金などにより建設された集会場のうち、経年により老朽化した施設を改修する。</p>						
現状・課題・対策	<p><b>【事業の現状・問題…現状（R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする）や数値、前年度比較等）、解決すべき事柄】</b>                      平成30・31年度は三井東町ふれあいセンターの改修工事を行い、地域住民の集会、学習活動環境の向上を図ることができた。                      また、令和元年度実施予定の那加楠町集会場・鵜沼東町ふれあいセンター改修工事について、設計を行った。</p> <p><b>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】</b>                      施設の経年劣化が進み、特に空調設備等の不具合や雨漏り等が見受けられる施設が毎年あり、早急な対応が必要である。また、騒音測定の結果、建設当初の防衛省補助メニューが使用できない施設がある。</p> <p><b>【対策…そのための具体的な行動内容】</b>                      施設の状態や市民からの要望等を踏まえ、改修計画を随時見直すとともに、防衛省の補助メニューを効率的に活用し、地域住民が安心して活動できるよう整備を進める。</p>						

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）	施策の柱	交通体系
------	--------------------	------	------

●目指す姿

- 本市と近隣市町とを結ぶ主要な広域幹線道路が整備されています。
- 交通混雑箇所の解消、自転車利用を視野に入れた道路など、利便性や安全性の高い市内幹線道路が整備されています。
- 狭あい道路の改善や舗装、側溝整備など、身近な生活道路が整備されています。

●事業の達成指標

項目名	前期計画 策定時	H27	H28	H29	H30	R1	R1年度末 目標値	担当課	分析	今後の取組予定
（主）円滑に移動できる道路網が整備されていると感じる市民の割合	53.8% (H26)	-	50.8%	-	47.4%		UP	道路課	各路線の年次計画に基づき、道路網の整備を進めているが、市民の道路整備に対する期待の高さから、数値は停滞している。	市内幹線道路とともに、国や県との連携による広域幹線道路の整備を進め、車が円滑に移動できる道路網を構築する。
（客）市道整備（新設・改良）延長（累計）	-	1,169m	2,550m	3,823m	4,883m		7,000m	道路課	市道那168号線外1、市道那837号線などを整備し、市道整備(新設・改良)延長は順調に伸びている。	安全で円滑な交通道路網の構築に向け、市道の整備を継続して進める。
（客）狭あい道路整備件数（累計）	15件 H25末	23件	28件	31件	37件		45件	建築指導課	窓口での周知を重ねてきた結果、事業が徐々に浸透し、狭あい道路の解消につながっている。	今後も市民の生活道路を改善していくため制度の必要性の周知を継続して実施し、更なる事業の推進に努める。
（客）歩道バリアフリー化整備延長（累計）	-	1,538m	2,947m	5,084m	6,868m		8,000m	道路課	市道那168号線外1、市道那837号線などを整備し、歩道バリアフリー化整備延長は順調に伸びている。	歩行者が安全で安心して通行できるよう、歩道のバリアフリー化を継続して進める。

●施策の方向性①広域幹線道路の整備

事業番号	72101	事業名	日野岩地大野線整備事業 (市道那378号線)	担当課	道路課	事業評価	順調に進んでいる
事業概要		自転車、歩行者の安全及び交通利便性を確保するため、市西部の広域幹線道路として、都市計画道路日野岩地大野線のうち、市道那378号線区間を、両側歩道の2車線道路に拡幅整備する。 <事業概要> 事業期間：平成25～31年度 整備延長：1,039m					
現状・課題・対策		【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 前年度に引き続き工事を進めており、H30年度はL=510mの道路整備工事を行い、進捗率は95%となった。  【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 主要な幹線道路の交差点に近接しているため、工事の施工について交通影響に十分配慮する必要がある。  【対策…そのための具体的な行動内容】 交通影響に配慮した交通規制を行い、工事渋滞や苦情を抑えた施工に努める。					

●施策の方向性②市内幹線道路の整備

事業番号	72201	事業名	地区計画道路整備事業	担当課	都市計画課	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	良好な環境の街区の形成を促進するため、必要な道路の整備を行う。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 寄附・買収により、地区計画道路の用地取得を行い、道路整備を実施する。現時点で、地区計画道路220路線のうち、33路線が整備済となっているが、計画区域内において、建物や工作物などが支障となり、全区間の整備が困難なため、整備率が上がらない。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 交通量や費用対効果を考慮し、地区計画ごとに整備の優先順位をつける必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 建物や工作物などの補償物件が少ない路線や宅地需要が多い地区を重点的に実施し、事業促進を図る。</p>								

事業番号	72203	事業名	市道那837号線道路改良事業 (尾崎中央通り)	担当課	道路課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	<p>老朽化が著しい車道舗装を打ち換え、両側にバリアフリー化歩道を整備することにより、通行車両と歩行者の安全を確保する。</p> <p>&lt;事業概要&gt; 事業期間:平成20～30年度 整備延長:2,344m</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 H30年度にL=214mを施工し、事業を完了した。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 -</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 -</p>								

事業番号	72208	事業名	市道那168号線外1道路改良事業	担当課	道路課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	<p>市西部の主要道路として、自転車、歩行者の安全及び交通利便性を確保するため、いちよう通りと市道那692号線(旧県道)を結ぶ区間を整備する。(那加長塚町～山後町地内)</p> <p>&lt;事業概要&gt;            事業期間:平成25～30年度 整備延長:510m</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】            H30年度にL=336mを施工し、事業を完了した。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】            -</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】            -</p>								

事業番号	72209	事業名	市道那616号線道路改良事業	担当課	道路課	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	<p>市街地を結ぶ主要道路として、自転車、歩行者の安全及び交通利便性を図るため整備する。(那加雄飛ヶ丘町～那加昭南町)</p> <p>&lt;事業概要&gt;            事業期間:平成27～30年度            整備延長:152m</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】            H30年度からの繰越工事(R1.8.30)で事業を完了する。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】            -</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】            -</p>								

事業番号	72213	事業名	狭あい道路整備事業	担当課	建築指導課	事業評価	概ね順調に進んでいる
事業概要	生活道路の整備を行うため、道路後退用地として使用する土地について、寄付していただくことを前提に、市が確定測量、所有権移転等を行い、狭あい道路の整備を行う。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 H28年度は5件、H29年度は4件、H30年度は6件の道路後退用地の寄付を受け、狭あい道路整備を実施しているが、制度についての市民の認知度が低い。また、所有者にとっては狭あい道路整備事業の重要性の認識より、土地が減るという意識を持たれる傾向がある。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 道路後退による防災上の意義や利便性の向上について理解を得ることが必要。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 制度及び事業の重要性を広報やウェブサイトで周知するとともに、来庁された市民に対し制度の内容を丁寧に説明し事業の進捗を図る。</p>						

事業番号	72215	事業名	市道蘇北735号線外1道路改良事業(蘇原中央通り)	担当課	道路課	事業評価	順調に進んでいる
事業概要	<p>地区における慢性的な交通停滞の解消を図るため、交差点内において右折車線を拡幅整備する。</p> <p>&lt;事業概要&gt; 事業期間:平成28~30年度 整備延長:152m</p>						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 H30年度からの繰越工事(H31.4.19)で事業を完了した。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 -</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 -</p>						

事業番号	72216	事業名	市道蘇北390号線外2道路改良事業 (かえで通り延伸)	担当課	道路課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	<p>市の南北軸を形成する主要道路として、車両、歩行者の安全及び交通利便性を図るため整備する。(蘇原瑞穂町～蘇原大島町)</p> <p>&lt;事業概要&gt;            事業期間:平成28～33年度            整備延長:700m</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】            H30年度は、4筆の事業用地取得を行った。当該路線とおがせ街道との交差点には、交通の円滑化及び安全性向上を図る必要がある。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】            当該路線が拡幅されることに伴い、交通量の増加が見込まれ、安全性を確保するため、交差点部に信号機を設置する必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】            R3年度の工事完了に合わせ、信号機が設置されるよう公安委員会に対し要望を行う。</p>								

事業番号	72219	事業名	市道鶴1087号線道路改良事業	担当課	道路課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	<p>緊急輸送道路としての機能を確保するとともに、通学路の安全対策を推進するため、片側歩道の2車線道路に拡幅整備する。</p> <p>&lt;事業概要&gt;            事業期間:平成29～31年度            整備延長:310m</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】            H30年度から工事を実施しているが、施工箇所は通学路指定されている区間でもあり、通学児童の安全確保が不可欠となる。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】            工事中の通学児童の安全を確保するため、学校関係者と開発事業者との調整が必要である。            橋梁拡幅に伴い、河川管理者との協議が必要である。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】            工事中は、学校関係者と開発事業者等との調整を密にする。            橋梁拡幅については、河川管理者との協議に基づき施工する。</p>								

事業番号	72220	事業名	犬山東町バイパス整備促進事業	担当課	道路課・用地課	事業評価		概ね順調に進んでいる
事業概要	<p>岐阜県事業による犬山東町線バイパス整備を促進するため、その周辺地区において、地籍調査を行う。</p> <p>&lt;事業概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業期間:H30～32年度</li> <li>・地籍調査:16.5ha(鶉沼東町:10.2ha、鶉沼南町:6.3ha)</li> </ul>							
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】</p> <p>平成30年度は、基準点測量、一筆地調査(資料収集・素図作成)を実施し、一筆地調査(境界立会)に向け、所有者調査を実施したが、、相続未了土地(7人12筆)等権利者が確定できない土地が判明した。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】</p> <p>一筆地調査(現地立会)に向けて、土地権利者を確定する必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】</p> <p>相続未了土地については、戸籍調査を実施し、法定相続人を特定。聞き取り調査等を行い権利者を特定し、一筆地調査(現地立会)をスムーズに進める。</p>							

事業番号	72222	事業名	市道川1号線道路改良事業	担当課	道路課	事業評価		あまり順調に進んでいない
事業概要	<p>川島地区の円滑な交通と歩道のネットワークを構築する。</p> <p>&lt;事業概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業期間:H30～32年度</li> <li>整備延長:320m</li> </ul>							
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】</p> <p>H30年度は、設計及び8筆の事業用地取得を行い、今年度は3筆取得予定。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】</p> <p>工事の施工に伴い、用地取得を完了させる必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】</p> <p>用地取得できるよう粘り強く交渉を行うが、用地取得が困難な箇所については、起工承諾や暫定形での整備を実施する。</p>							

事業番号	72223	事業名	市道那713号線外1道路改良事業	担当課	道路課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	<p>新庁舎駐車場への安全で円滑な車の誘導や、歩行者の安全を確保するため、市道那713号線外1路線を拡幅整備する。</p> <p>&lt;事業概要&gt;            事業期間:H30~31年度            整備延長:那713号線 120m、那816号線 130m</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】            H30年度は、設計及び2筆の事業用地取得を行った。新庁舎建設に伴い、来庁者の利便性及び周辺交通の安全を確保する必要がある。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】            新庁舎の供用までに事業を完了することが必要。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】            新庁舎関連工事との調整を行い、工程管理や安全管理に努める。</p>								

事業番号	72224	事業名	市道那941号線道路改良事業	担当課	道路課	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	<p>公共交通機関利用者など歩行者等の安全確保や自動車交通の円滑化を図るため、歩道の設置及び道路拡幅整備を行う。また、併せてJR・名鉄踏切の拡幅を行う。</p> <p>&lt;事業概要&gt;            ・事業期間:H30~37年度、 ・整備延長:500m</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】            H30年度は、概略設計を行った。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】            国庫補助事業に採択される必要がある。            岐阜国道事務所、JR及び名鉄との協議が必要である。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】            国庫補助事業に採択されるよう防衛省と協議、調整をする。            岐阜国道事務所、JR及び名鉄との協議を密にする。</p>								

事業番号	72225	事業名	市道那813号線道路改良事業	担当課	道路課	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	<p>歩行者の安全確保や新庁舎へのアクセス機能の向上だけではなく、市役所周辺の土地利用の促進、中心市街地としての賑わいの創出などの効果も期待できる。</p> <p>&lt;事業概要&gt;            事業期間:H30~33年度            整備延長:L=130m</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】            H30年度は、24人の権利者に対し、意向調査を行った。その結果、事業進捗に物件補償調査が必要であると認識した。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】            用地取得をするために、物件補償調査を早期に行う必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】            用地取得については、早期に物件補償調査を発注し、地権者と交渉する。</p>								

事業番号	72230	事業名	市道各378号線道路改良事業	担当課	道路課	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	<p>各務山工業団地造成事業と連携し、工業団地へのアクセスルートとして、新たな南北幹線道路となる道路を整備する。</p> <p>&lt;事業概要&gt;            事業期間:平成30~35年度            整備延長:1,330m</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】            H30年度は、実施設計を行った。計画どおり事業を完成させるため、進捗管理が重要となってくる。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】            工事着手時期を遅らせないため、用地交渉の材料として、物件補償調査を早期に行う必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】            早期に物件補償調査を発注し、地権者との用地交渉に移行する。</p>								

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）	施策の柱	上下水道・河川
------	--------------------	------	---------

●目指す姿

- 上水道、下水道が適切に整備、管理され、市民の快適な生活が確保されています。
- 雨水幹線、河川、貯留浸透施設の整備により、豪雨などによる浸水被害から市民の生命や財産が守られています。

●事業の達成指標

項目名	前期計画 策定時	H27	H28	H29	H30	R1	R1年度末 目標値	担当課	分析	今後の取組予定
(主) 各務原の水道水を安心して飲むことができると感じる市民の割合	79.9% (H26)	-	76.5%	-	79.6%		UP	水道 総務課	ウェブサイト、イベント、出前講座での広報活動により、市民の水質に対する安心感が増し、数値が向上している。	水道水に関するデータを広報し、関心を高める。
(客) 下水道普及率	77.1% H25末	79.4%	79.8%	80.4%	80.9%		83.5%	下水道 課	投資効果の高い市街化区域を中心に整備を行う一方、市街化調整区域の既存集落の整備にも着手しているため、数値は微増となっている。	既存施設は、計画に沿って点検・調査を実施し、効率的な維持管理を実施していく。市街化調整区域の既存集落は社会情勢の変化に注視し、慎重に判断しながら整備を進める。
(客) 雨水幹線整備延長（累計）	37km H25末	37.7km	37.9km	38.2km	38.8km		39km	河川 公園課	豪雨対策の重要性に伴い、国庫補助金を活用し計画的に雨水幹線整備を実施しているため、整備延長は順調に増加している。	今後も浸水被害の軽減を図るため事業を推進する。
(客) 水道管路の耐震化率	23.6% H25末	26.6%	28.2%	29.7%	31.7%		33.4%	水道 施設課	他工事との調整を図るとともに、計画的に耐震化を進めており、耐震化率は順調に増加している。	事業の効率化と平準化に努め、他工事との同調施工も考慮しつつ、整備を進める。

●施策の方向性①水道水の安定供給

事業番号	73101	事業名	水道施設等更新事業	担当課	水道施設課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	水道水の安定供給のため、老朽施設等の設備・機器を更新整備する。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 水道水の安定供給のため、老朽施設等の設備・機器を計画的に更新整備している。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 設備・機器の状態を見極め、適切な施設の修繕、更新計画を立案する必要がある。 水道施設を稼動しながら施工する必要があり、水質事故、断水事故を起こさないよう十分に注意しなければならない。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 日常点検等により、設備・機器の状態を的確に見極める。 水質事故、断水事故を未然に防ぐため、施工計画を綿密に検討する。</p>								

事業番号	73102	事業名	水道施設・設備耐震化 (水道施設・配水管)整備事業	担当課	水道施設課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	水源地や配水池等の水道施設について、耐震性能が低い施設を順次、耐震補強する。 水道管路について、老朽管布設替等により、地震等の災害に強い管種・継手を施工し、耐震化を図る。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 H30年度末における耐震化率は、浄水施設が99.8%、配水池が97.1%、管路が37.1%であり、計画どおり耐震化整備を進めている。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 浄水施設、配水池については、R2年度までに耐震化整備が完了する見込みであるが、管路の耐震化には長期間を要するため、財政計画を踏まえ効率的に整備していく必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 管路の耐震管への布設替えについては、更新基準年数を経過した管路の布設替えを基本とし、他工事との同調施工も考慮した効率的な整備に努める。</p>								

●施策の方向性②公共下水道(汚水)の整備及び維持管理

事業番号	73201	事業名	下水道管渠布設事業	担当課	下水道課	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	都市基盤としての汚水幹線等の下水道管渠を整備し、快適で衛生的な市民生活を確保するとともに、貴重な上水道の水源である地下水や河川の水質保全を図る。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 市街化調整区域を中心に、面整備を実施しており、平成30年度は上戸町蘇原古市場町、鶴沼朝日町、鶴沼三ツ池町において計18.13haの面整備を実施し、供用を開始した。比較的人口密度の低い区域や、施工上の制約の多い区域に着手していることから、快適で衛生的な市民生活を確保する指標である下水道普及率の伸びが鈍化している。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 下水道長寿命化事業も併せて実施する必要がある中で、下水道普及率のみにとらわれるのではなく、費用対効果を考慮しながら事業を推進していく必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 設計の見直しや支障移転工事の削減に努め、更なるコスト縮減に取り組みながら、国土交通省補助を有効に活用し、面整備を優先的に進める。</p>								

事業番号	73204	事業名	地方公営企業法適用事業	担当課	下水道課	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	これまでの特別会計から、貸借対照表や損益計算書等のいわゆる財務諸表の作成を行い、自らの経営・資産等を正確に把握して地方公営企業会計へ円滑に移行していく。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 R2年度からの地方公営企業会計への移行に向け、支援業務委託をH29年度からH31年度の期間で実施している。H30年度は、主に資産整理及び資産管理図の作成、財務会計システムの調整を実施した。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 各項目のスケジュールを管理しながら、庁内関連部局との調整及び財務会計システム導入にかかる上水との打ち合わせを迅速に進めていく必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 委託事業の打合せの都度、進捗状況の報告内容を精査し、以降の事業実施に際しての課題点を把握のうえ、公営企業会計への円滑な移行に努める。</p>								

●施策の方向性③公共下水道(雨水)及び河川の整備

事業番号	73301	事業名	雨水施設整備事業(雨水幹線・ひ管改築・校庭貯留施設)	担当課	河川公園課	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	<p>想定を超える集中豪雨により、家屋への浸水や道路冠水など、治水安全度が著しく低下していることから、市民の生命と財産を守るため、雨水幹線の整備を行う。また、都市化の進展による雨水の流出抑制を図るため、公共施設に貯留施設の整備を行う。</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】            大雨による浸水被害を防止するため、社会資本整備総合交付金を活用して公共下水道(雨水)事業において、雨水幹線や樋管及び貯留施設の整備を実施している。H30年度は北山雨水幹線外1(L=600m)及び稲羽中学校貯留施設整備を実施した。社会資本整備総合交付金の配分額には年度による増減があり、整備順序の検討が重要である。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】            年度ごとの社会資本整備総合交付金にばらつきがあり、これに対応するため年間事業量の調整と、早期の事業効果発現を同時に図っていく必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】            浸水被害が頻発している区域を優先して、雨水幹線の整備を実施するとともに、雨水幹線の整備に長期を要する区域においては、貯留施設など一時的に雨水を貯留する施設を整備して雨水の流出を抑制し、早期に浸水被害の軽減を図る。</p>								

事業番号	73302	事業名	排水路改良事業	担当課	河川公園課	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	<p>老朽化による破損や排水能力の不足により、浸水被害が発生している区域の治水安全度を確保するため、排水路の改修を行う。</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】            国庫補助要件に満たない雨水幹線や小規模な排水路においても、豪雨の際に局所的な浸水が発生しており、優先度の高い排水路から順次改修を行っている。H30年度は百曲第2排水路整備(L=120m)及びポンプ設置を実施した。小規模な排水路の多くは資料が乏しく、整備年も不明であり、浸水箇所の下流において水路断面が不足していたり、不適切な施工がなされていることがある。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】            断面不足や不適切な施工がされている水路の多くは暗渠水路であり、通常では流量や接続先の把握が困難であることから、浸水の原因把握のため、順次詳細な調査を行っていく必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】            水路の改良を行うにあたり、上流及び下流を考慮した水路断面の確保に努める。            また、今後も市内の暗渠水路について順次調査を行い、浸水原因の把握に努める。その他の排水路についても、堆積土砂の浚渫や清掃など維持管理を強化していく。</p>								

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）	施策の柱	都市基盤の機能強化
------	--------------------	------	-----------

●目指す姿

- 路面舗装、歩道橋、橋梁等の道路構造物、公園施設、公共下水道施設の補修が計画的に行われ、既存の施設が大切に活用されています。
- 補修工事の際に、施設の状態を踏まえ、補強や耐震などの機能強化が図られています。

●事業の達成指標

項目名	前期計画 策定時	H27	H28	H29	H30	R1	R1年度末 目標値	担当課	分析	今後の取組予定
（主）身近な公園や道路などで再生が図られ、利用しやすくなったと感じる市民の割合	53.1% (H26)	-	50.5%	-	50.5%		UP	河川公園課	老朽化、ニーズの変化等を踏まえ、計画的に公園のリニューアルを実施しているが、年間のリニューアル数が限られることから、指標としては横ばいとなっている。	市民からの要望に対し、整備順序を検証するとともに、整備に際しては、ワークショップの開催など、市民と行政の協働体制により推進する。
（客）幹線道路の舗装打換実施路線数（累計）	-	-	1路線	3路線	5路線		6路線	道路課	市道鶉932号線、市道鶉1082号線の舗装打換を実施し、幹線道路の舗装打換実施路線数は順調に伸びている。	今後も幹線道路の舗装打換を計画的に進める。
（客）橋梁耐震補強・補修箇所数（累計）	-	3橋	6橋	8橋	9橋		15橋	道路課	計画的な耐震・補修に向け、設計や関係機関との協議を進め、順調に進めている。	今後も耐震・補修の優先順位を踏まえ、計画的に予算を確保しながら事業を進める。
（客）公園施設の長寿命化・リニューアル数（累計）	41箇所 H25末	56箇所	65箇所	72箇所	81箇所		85箇所	河川公園課	目標値に向け計画通りに実施できている。	今後も公園施設長寿命化計画等に基づき整備を進めていく。

●施策の方向性①公共施設の長寿命化

事業番号	74101	事業名	橋梁長寿命化事業	担当課	道路課	事業評価	概ね順調に進んでいる
事業概要	劣化・損傷により大きな社会的損失が生じることを避けるため、橋梁の法定点検及び修繕を年次計画に基づき適切に行う。						
現状・課題・対策	<p>＜事業概要＞ 事業期間：平成23年度～ 対象：橋梁 530橋、横断歩道橋 9橋</p> <p>【事業の現状・問題…現状（R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする）や数値、前年度比較等）、解決すべき事柄】 橋梁の耐震・補修工事及び横断歩道橋の補修工事を7橋（中屋大橋、前渡東町西歩道橋など）実施した。（うち、2橋繰越） 橋梁及び横断歩道橋の定期点検を実施し、平成30年度で、市内全橋梁の1巡目の点検が完了した。 橋梁数が多く、今後も継続的な定期点検が必要となり、すべての橋梁に対して業者へ委託することになると費用が膨大となってしまう。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 定期点検は、一部の小規模な橋梁について、職員による直営点検の実施により、費用の削減及び職員の技術力向上を進める必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 職員の社会基盤メンテナンスエキスパートの資格取得や、各研修等によるインフラ維持管理に関する知識や技術の向上を図る。</p>						

事業番号	74102	事業名	公園施設長寿命化事業	担当課	河川公園課	事業評価	順調に進んでいる
事業概要	公園施設の既存ストックについて、その改築・更新時期と費用の平準化を定めた公園施設長寿命化計画に基づき、改修工事を計画的に実施する。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 公園施設長寿命化計画に基づき改修工事を実施するとともに、平成29年度は、既存の52公園の改築・更新時期と費用の平準化から、161公園を対象を拡大する見直しを行った。また、H30年度は金太郎公園や朝日南公園外10箇所で長寿命化工事を実施した。対象となる公園について、早急な修繕を要する施設の選別と改修の優先順位の決定が必要となる。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 計画対象の公園数を拡大したことから、施設の点検結果に応じて柔軟かつ迅速な対応が必要となる。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 点検等で早急な修繕を要する施設が見つかった場合には、長寿命化計画の立て直しなど柔軟な対応を行う。</p>						

事業番号	74103	事業名	市営住宅改修等整備事業	担当課	建築指導課	事業評価	順調に進んでいる
事業概要	市営住宅の長寿命化を行うため、順次、老朽化した施設の整備改修を行う。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 生活に直結する水回りの改善を行うため、配管改修については、旭ヶ丘住宅で3戸を実施した。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 住居内での工事のため、入居者に配慮した日程調整及び工法の工夫が必要である。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 退去によって空き家となった住戸を工事対象として実施することにより、入居者への負担軽減を図る。</p>						

事業番号	74104	事業名	下水道長寿命化事業	担当課	下水道課	事業評価	概ね順調に進んでいる
事業概要	下水道における事故の未然防止とライフサイクルコストの最小化を図るため、下水道ストックマネジメント計画に基づき改築更新を行う。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 策定している下水道ストックマネジメント計画に基づき、国の補助配分の増減に応じて老朽化が進んでいる管渠の点検・調査と更生及び布設替え等を行っている。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 補助配分の結果、下水道ストックマネジメント計画どおりに事業が実施できない施設について突発的な事故が起こらないよう、日常点検に努める必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 国庫補助の安定的な確保を目指し国に積極的に働きかけていくとともに、破損や詰まりによる修繕の発生する路線や区域を重点的に点検し、状況に応じた効率的な長寿命化事業の実施に努めていく。</p>						

事業番号	74105	事業名	公園建物施設改修等整備事業	担当課	河川公園課	事業評価	あまり順調に進んでいない
事業概要	公園施設(公園)長寿命化計画等に基づき、以下の施設における老朽化した建築施設の改修を行う。(対象施設:リバーサイド21、市民公園、各務野自然遺産の森、学びの森)						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 長寿命化計画に基づき、平成27年に市民公園の建築施設の改修を実施したが、近年は早急に改修すべき施設がなかったため、改修は実施していない。しかし、施設の長寿命化の観点からは、施設の状況を踏まえた早めの対応が必要である。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 予防的保全により長期的な改修コストの縮減を図り、計画的に建築施設の改修等を実施していくため、定期的な点検による劣化状況の把握と適切な更新時期の設定が必要となる。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 定期的な点検を確実にを行い、施設全体の改修費用の平準化を図っていくとともに、経済的な改修方法を検討していく。</p>						

事業番号	74106	事業名	鵜沼空中歩道等長寿命化事業	担当課	都市計画課	事業評価		概ね順調に進んでいる
事業概要	既存ストック(宇留摩庵、鵜沼空中歩道ほか)について、それらの改築・更新時期と費用の平準化を定めた公共施設長寿命化計画に基づき、維持補修工事を行う。							
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 H29年度に鵜沼空中歩道の定期点検を実施し、H30年度には鵜沼駅立体駐輪場の外壁塗装を実施した。その他についても公共施設長寿命化計画に基づき維持補修を実施することとしているが、点検の結果、早急に改修する必要がないと判断したため、計画どおり進捗していない。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 長寿命化計画には耐用年数を考慮して整備年度が定められているが、耐用年数が経過した時点で老朽化の度合いを判別し、改修の必要性を判断することが重要である。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 長期的な視点で長寿命化計画を立案するために、構造物の定期的な点検による点検記録を蓄積し、改修時期の判断材料とする。</p>							

●施策の方向性②施設の高付加価値化

事業番号	74201	事業名	道路維持改良事業	担当課	道路課	事業評価		順調に進んでいる
事業概要	<p>道路網全体の安全性を向上させるため、調査点検結果を踏まえ、舗装や構造物等の道路ストック修繕を行う。</p> <p>&lt;事業概要&gt;事業期間:平成25～36年度 市内幹線道路舗装修繕・道路ストック防災修繕(社会資本整備総合交付金・調整交付金など)</p>							
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 H30年度は、市内幹線道路(市道鵜932号線、市道鵜1082号線など)の舗装改良工事及び鵜沼台地内の法面補修工事を実施した。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 幹線道路舗装の老朽化に対し、計画的に修繕し安全な道路を維持する必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 緊急度が高い路線について、国の補助金等を活用し着実な進捗を図る。</p>							

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）	施策の柱	公共交通
------	--------------------	------	------

●目指す姿

- 地域住民が利用しやすい公共交通ネットワークが形成されています。
- ふれあいバス等が市民の移動手段として活発に利用されています。

●事業の達成指標

項目名	前期計画 策定時	H27	H28	H29	H30	R1	R1年度末 目標値	担当課	分析	今後の取組予定
(主) ふれあいバスを利用しやすいと感じる市民の割合	14.8% (H26)	-	15.6%	-	13.9%		UP	商工 振興課	ふれあいバスの利用が増える一方で、利活用についての普及啓発が進んでいないため利用しやすいと感じる市民の割合が伸びていない。	路線・ダイヤに関する情報提供だけでなく、体験型の利用促進策により理解度を深める。
(客) ふれあいバスの年間利用者数	135,620 人 H25実績	172,151 人	199,249 人	213,930 人	230,427 人		200,000 人以上	商工 振興課	ふれあいバスのダイヤの改正や利用普及啓発を行ったため、航空宇宙博物館来館者の利用増に加え、日常利用も増加している。	利用者ニーズや地域環境の変化を的確に把握し、更に利用しやすい路線・ダイヤを目指す。

●施策の方向性①公共交通ネットワークの形成

事業番号	75101	事業名	公共交通ネットワーク形成事業	担当課	商工振興課	事業評価	概ね順調に進んでいる
事業概要	<p>鉄道、路線バス、ふれあいバスなど各路線の役割と確保すべきサービスを明確にするとともに、鉄道を軸に、路線バスやふれあいバスなど、多様な交通サービスが相互に連携した一体的な公共交通ネットワークを形成する。</p>						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状（(R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする）や数値、前年度比較等）、解決すべき事柄】 前年比約16,000人の利用者増となった。うち10,000人は、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館のリニューアルオープンに伴う一過性のもの（川島線、稲羽線）と思われるが、他路線においても約6,000人の利用者が増加し、H27.10の大規模ダイヤ改正以降、毎年10%弱の利用者の伸びが見られている。また、運転免許証を自主返納する高齢者が増加する中、外出手段を公共交通機関、特にふれあいバスに頼る人からの問い合わせ・要望が急増している。一方、最寄りのバス停まで歩いていくことが困難な人への対応（ラストマイル問題）への対応が求められている。しかしながら業界全体で慢性的な運転手不足が続いており、路線・ダイヤの増便や変更はかなり難しい状況にある。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 路線・時刻表・乗り継ぎなどに対する要望が多様化しているが、全ての要望をふれあいバス・ふれあいタクシーで解決することは困難な状況にあるので、ほかのリソースを活用する必要がある。 運転免許証を自主返納した人の多くが、バスの運行状況を知らなかったり利用経験がなかったりするので、そういった方への利用促進策の展開が必要である。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 路線・ダイヤについては、各地域から寄せられる要望を整理し、各種調査等で利用実態を把握したうえで利用しやすくなるよう改正を検討していく。 各世代の生活実態に合わせた利用促進策を展開し、新たな利用に繋げる。 ふれあいバスのみでカバーできない課題やニーズに対しては、他の公共交通機関や、地域主体の取り組みや新しい移動サービス等を活用した課題解決を他部門と連携しながら検討していく。</p>						

事業番号	75102	事業名	鉄道駅バリアフリー化設備等整備事業	担当課	商工振興課	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	改正バリアフリー法及び各務原市新那加駅周辺地区バリアフリー基本構想に基づき、新那加駅のバリアフリー化を名古屋鉄道株式会社が進めるため、市も同構想に基づき必要経費の一部を負担する。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】  新那加駅のバリアフリー化(EV及び多目的トイレの設置など)を名古屋鉄道株式会社が施工するため、平成29年度に調査設計費、平成30年度に工事費の一部補助を行った。令和元年度に残りの工事費の一部を補助し、3月に終了予定。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】  整備事業として動き出してから4年間にも渡る事業となり、最終年度である令和元年度中に工事を終わらせること及び工事中の事故防止、駅利用者・周辺住民等への配慮など細心の注意を払う。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】  本体事業者である名古屋鉄道株式会社、補助金の一部を負担する岐阜県、市との協議を重ね、工事・予算・スケジュールの確認等の意思統一を行い、円滑な事務を進めていく。また、駅利用者・周辺住民等に対して、工事实施の周知を徹底する。</p>								

●施策の方向性②ふれあいバスの運行

事業番号	75201	事業名	ふれあいバス運行事業	担当課	商工振興課	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	地域の有効な移動手段として市民に愛され、持続的な運行が可能になるよう、地域住民、交通事業者、行政が一体となった取り組みを戦略的に進め、一層の利用促進に取り組む。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】  平成27年度のふれあいバスの再編後、継続的に利用者数を伸ばし、平成29年度には、年間利用者数の目標値である200,000人を達成している。一方で、ふれあいバスを利用しやすいと感じる市民の割合は13.9%と、以前よりも下回っている。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】  バスの運行に必要な資源(人材、資金等)は限られているため、効果的な運行体制の検討が必要。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】  確実な運行を継続するほか、ふれあいバス車内に設置した「意見箱」等を通して、市民や利用者の意見や気づきを運行事業者とも共有し、より利用しやすいバス環境づくりを目指す。  また、より分かりやすい情報発信を目指し、バスの運行情報等を乗り継ぎ案内サービス等へ積極的に発信していく。</p>								